

第一期中期目標期間における業務実績報告書にかかる質問・確認・資料要求等

※「種類」欄の区分、「1 質問事項 2 確認事項 3 資料要求 4 その他」

ページ数	質問・確認したい箇所	種類	質問等の内容	回答内容
10	実施状況	1 2	インフォームド・コンセントについて、もう少し具体的に取り組んだことを記載できないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり記述が漏れていましたので、下記の記述を追記いたします。 ○インフォームドの実施にあたっては、院内における統一したルールを徹底し、手続きの標準化を図るため、「インフォームド・コンセント（説明と同意）確認マニュアル」を作成し、方針や手順を理解した上で適正な実施に努めています。
12	非常時における医療救護等	2	「県外における大規模災害発生時にも医療救護等の協力を行う」という目標・計画がある。実績として、熊本地震への災害派遣協力の記載を入れてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、記述が漏れていましたので、下記の記述を追記いたします。 ○H28年度では、災害時の医療救護活動に関する協定書に基づき、医療救護班1班（医師2名、看護師2名、薬剤師1名、放射線技師1名）を熊本地震で被災した熊本県阿蘇地域に派遣した。（派遣期間：平成28年5月2日～6日）
12	医療における地域への貢献	1 2	「四日市公害患者に対する治療は引き続き的確に対応していく」という中期計画に対する実施状況の記載がない。何か記載できることはないか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり記述がもれていましたので、次の記述を追記いたします。 ○院長と呼吸器内科部長が四日市市の公害健康被害認定審査会、公害健康被害者等療養運営委員会等の委員に就任し、市の公害保健行政に協力している。 ○呼吸器系疾患の治療を強化するため、呼吸器内科医の確保に努め、北勢呼吸器センターを開設（H28.4）した。
13	医師不足等の解消への貢献	1	へき地における代診要請に伴う医師の派遣9件に対し、8件派遣しているということは、1件はお断りしていると解釈して良いのか？ もし断っているとすればどのような事情からなのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、派遣要請に対して1件のみ派遣が中止となっています。これは、台風の影響により鳥羽市から派遣中止の連絡があったものです。

ページ数	質問・確認したい箇所	種類	質問等の内容	回答内容																														
				<p>平成 28 年度改定では、7 対 1 看護体制加算の基礎となる重症度、医療・看護必要度の評価基準及び割合について大幅に見直しがなされたほか、持参薬管理に係るファイル提出が義務付けられました。</p> <p>このため、診療部、看護部、コメディカル部門に加え、事務部門が加わったワーキンググループを立ち上げ、医事経営の専門性を生かしたデータ分析やアドバイスをを行うなどの対応を行い、対策の効果を上げています。</p> <p>このほか、算定加算の見直しを随時行うなど、診療報酬に係る適正な事務を遂行しています。</p>																														
17	病床稼働率	1 2	<p>病床稼働率も大幅に向上し、H28 は入院患者数入院患者数が 326.2 人/日と最高になったことは非常に評価できる。</p> <p>当地域には 4 つの基幹病院がある。市立四日市病院、四日市羽津医療センター、厚生連菰野厚生病院と三重県立総合医療センターである。</p> <p>それぞれの病床数・稼働率は平成 27 年病床機能報告によると</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総合医療センター</th> <th>市立</th> <th>羽津</th> <th>菰野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床数（許可）</td> <td>439</td> <td>566</td> <td>235</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>病床数（稼働）</td> <td>364</td> <td>566</td> <td>235</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率 （許可病床数ベース）</td> <td>82.9%</td> <td>74.9%</td> <td>63.7%</td> <td>77.5%</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数 （1ヶ月）</td> <td>1,150</td> <td>1,709</td> <td>412</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>救急車受入件数 （件/年）</td> <td>4,402</td> <td>6,276</td> <td>1,023</td> <td>688</td> </tr> </tbody> </table>		総合医療センター	市立	羽津	菰野	病床数（許可）	439	566	235	230	病床数（稼働）	364	566	235	230	病床稼働率 （許可病床数ベース）	82.9%	74.9%	63.7%	77.5%	新規入院患者数 （1ヶ月）	1,150	1,709	412	224	救急車受入件数 （件/年）	4,402	6,276	1,023	688	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は、平成 6 年に開院しましたが、当初は地域連携部門を設置しておらず、また県立病院であることから、入院を希望する患者は原則全て受け入れる状況となっていました。 ・このため、開院以降、入院患者数が年々増加し、平成 10 年度には 1 日あたりの入院患者数が 345.7 人に至ったことにより、平成 13 年度に 6 東病棟を開設し、増加する入院患者への対応を行いました。 ・この際に許可病床数を 60 床程度増床しており、現在の許可病床数と稼働病床数との差の要因となっています。 ・このような医療環境のなか、高度医療、救急医療を提供する急性期病院として、地域医療機関との機能分化を進め、積極的に紹介患者の受入れに取り組むとともに、適正な退院調整を促進した結果、紹介率が向上（H16:44.5%→H28:69.8%）するとともに、平均在院日数（H16:14.9 日→H28:12.0 日）が短縮され、入院単価（H16:41,985 円→H28:58,270 円）の大幅な増加を達成しました。
	総合医療センター	市立	羽津	菰野																														
病床数（許可）	439	566	235	230																														
病床数（稼働）	364	566	235	230																														
病床稼働率 （許可病床数ベース）	82.9%	74.9%	63.7%	77.5%																														
新規入院患者数 （1ヶ月）	1,150	1,709	412	224																														
救急車受入件数 （件/年）	4,402	6,276	1,023	688																														

ページ数	質問・確認したい箇所	種類	質問等の内容	回答内容
			<p>三重県立総合医療センターの病床稼働率は、稼働病床ベースで見ると稼働率は毎年 80%以上で、H28 は 88.4%で、許可病床数ベースで 73.6%である。</p> <p>許可病床と稼働病床数の差 75 ベッドの取扱をどう考えるのか？</p> <p>地域医療構想では当地域では高度急性期は 299 床から 224 床、急性期病床 725 床から 565 床とかなり医療需要は減少する。</p> <p>地域医療構想を踏まえて、将来の病床数、病院の機能を検討することが必要。三重県立総合医療センターが病床数 439 をフルに稼働させ高度急性期・急性期医療を担い、病床稼働率が 90%以上となれば三重県の基幹病院としての役割は果たせる。しかし、そのハードルはかなり高い。医師・看護師はじめスタッフを確保し、三重県全域からは無理としても広範囲から患者を集めないといけない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県の地域医療構想では、急性期病床の削減という方向性が示されており、安易に稼働病床を増床することは難しいと考えられますが、一方で、平成 28 年度は入院患者数が稼働病床数を超える日が発生していることから、稼働病床を増床する議論もあり、慎重に検討していきたいと考えています。
2 3	入院単価(表)	1	<p>H25～H27 年の入院単価はほぼ一定を保っているが、H28 年度は減少している。入院患者数の増加と反比例して減少している原因として考えられることなにか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> H28 年度の入院単価は、前年度に比べて 1,433 円減少していますが、うち 1,053 円が入院料等の減少となっています。 入院料等については、特に NICU 患者数の減による新生児特定集中治療室管理料の減収や、病理診断管理加算の取り下げなど診療報酬加算の減などの影響が考えられます。
2 4	財務内容	3	<p>中期計画上の 5 年間を合わせた財務 3 表予算と対比できる実績の 5 年集計の 3 表をお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 別紙をご参照願います。 中期計画期間 (H24～H28 年度) では、収支計画における純利席を▲316 百万円と見込んでいましたが、決算では▲201 百万円と赤字幅が 115 百万円減少しました。 また、資金計画では、次期中期目標期間への繰越金を 3,272 百万円と見込んでいましたが、決算では 3,995 百万円と 723 百万の増加となりました。

ページ数	質問・確認したい箇所	種類	質問等の内容	回答内容
27	NICU 利用延べ患者数	1	<p>中期計画の目標 1,640 人と随分差があるが、中期計画策定時と比べ出生数の減少以外の要因はあるのか。(他の評価項目の数値目標の中で、中期計画との比較で一番未達成数が大きいと思われる。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域における出生数の減少が、当院における NICU 利用患者の減少の要因の一つになっていると考えられますが、特に当院におけるハイリスク分娩件数の減少が大きく影響していると思われます。 ・近隣の産婦人科等との連携を強化し、ハイリスクの母体の受入れを増加させるため、当院の周産期医療の優位性を PR するなどの取組が重要と考えています。